

市町村名	東村						
<b>令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】</b>							
事業番号・事業名	1-①	東村自然環境保全事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(1)-イ		
担当部署名	建設環境課	事業実施(予定)年度	令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	陸域・水辺環境の保全		
事業内容	貴重な漁場及び観光資源となる海を保全するとともに産業振興を図るため、本村内での発生源調査及び土木的対策方法を検討し、赤土等流出の抑制を図る						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(令和5年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他( )						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	予算の状況	(a)当初予算額					5,170
		(b)予算現額					2,420
		(c)増減額(b-a)	0	0	0	0	▲2,750
		(d)繰越額					0
	A. 計(b+d)		0	0	0	0	2,420
	B. 執行済額						2,420
	うち交付金充当額						1,936
	次年度繰越額						0
	執行率(%) (B/A)		#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	100.0%
予算の状況の説明		入札残等の2,750千円は、第4回変更交付決定にて減額した。事業計画どおりに執行を行った。					
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	発生源調査及び実態に応じた土木的対策の検討	目標	( )	( )	( )	( 実施 )	
		実績				実施	
		目標	( )	( )	( )	( )	
		実績					
達成状況説明	発生源調査においては、河川流域を上り原因となる箇所の把握、河川流域6ポイントでの濁度調査を6回実施した。現況を勘案し、実態に応じた土木的対策の検討を行った。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)
	発生源調査及び実態に応じた土木的対策の検討完了	目標	( )	( )	( )	( 報告書作成 )	( )
		実績				報告書作成完了	
		目標	( )	( )	( )	( )	( )
		実績					
	進捗状況説明	発生源調査及び実態に応じた土木的対策の検討を行った結果を取りまとめた報告書を作成した。					

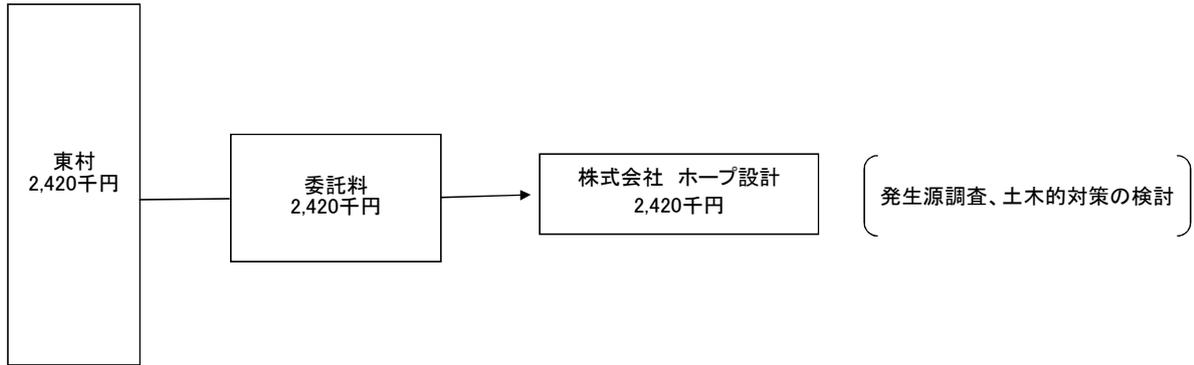
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>土本的対策を実施する際に、用地取得及び法的手続きの処理等必要と考える。特に用地取得に関しては、土地所有者が亡くなっている場合も想定されるので相続手続き等を含め用地取得が可能か事前に把握する必要がある。</p>	<p>整備予定地の所有者確認及び法的手続きの必要性を事前に調査する。特に用地取得に関しては、複数の整備候補地を選定し、整備実施に向け取り組んでいく。</p>

**今後の取り組み方針**

令和4年度に基本設計、令和5年度に工区1の実施設計、令和6年度に工区1の整備着手、令和7年度に工区2の実施設計、令和8年度に工区2の整備着手のスケジュールで整備を進めていく。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
2,420	2,420	1,936	484	0



資金の用途の流れ、費目・	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○委託事業者は指名競争入札で選定しており、妥当であったと考えている。</p> <p>○不用額は無く、適正な規模であった。</p> <p>○費目、用途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	東村						
<b>令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】</b>							
事業番号・事業名	2-①	特別支援教育支援員配置事業					
担当部署名	教育委員会	事業実施(予定)年度 平成27年度～令和3年度					
		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所 第3章-5-(1)-(ア) 地域を大切に、誇りに思う健全な青少年の育成					
		沖縄振興基本方針該当箇所 Ⅲ-5-(1)					
事業内容	教育上、特別な支援を必要とする幼児並びに児童生徒に対し、円滑な学校生活を送れるように在籍する幼稚園並びに小中学校において特別支援教育支援員を配置し、適切な学習環境を保持する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(    年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他(    )						
<b>予算額・執行額</b> <b>【単位:千円】</b> (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額(b-a) (d) 繰越額 A. 計(b+d) B. 執行済額 うち交付金充当額 次年度繰越額 執行率(%) (B/A)	14,502	14,667	10,786	10,224	7,536	
		11,088	7,829	8,989	5,537	4,397	
		▲ 3,414	▲ 6,838	▲ 1,797	▲ 4,687	▲ 3,139	
		11,088	7,829	8,989	5,537	4,397	
		10,813	7,400	6,651	5,537	4,229	
		8,651	5,920	5,321	4,429	3,383	
		97.5%	94.5%	74.0%	100.0%	96.2%	
予算の状況の説明	当初の計画では、小学校へ2名、中学校へ3名配置を予定していたが、実績では、小学校へ1名、中学校へ2名の配置2名減(配置見直し)。当初計画では3月末の事業完了を予定していたが、2月末での事業完了としたため、執行率が減少した。						
<b>活動目標(指標)及び達成状況</b>	R3活動目標(指標)	達成状況					
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	小学校へ1名、中学校へ2名の特別支援教育支援員を配置する	目標	(小学校4名配置 中学校3名配置 幼稚園1名配置)	(小学校3名配置 中学校3名配置)	(小学校2名配置 中学校3名配置)	(小学校1名配置 中学校2名配置)	
		実績	小学校4名配置 中学校3名配置 幼稚園1名配置	小学校2名配置 中学校3名配置	小学校2名配置 中学校2名配置	小学校1名配置 中学校2名配置	
		目標	( )	( )	( )	( )	
	実績						
達成状況説明	当初は小学校へ2名・中学校へ各2名、計4名(12ヶ月)の特別支援教育支援員配置を予定していたが、小学校において配置見直し等を行い、小学校へ1名、中学校へ2名を配置した。 特別支援教育支援員と教職員が連携を図り、児童生徒個々のニーズに応じた支援を行うことにより、適切な学習環境の保持ができた。						
<b>成果目標(指標)及び進捗状況</b>	R3成果目標(指標)	基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)	
	支援員に対する満足度(80%以上)	目標	( )	( 80% )	( 80% )	( 80% )	( )
		実績		100%	100%	100%	
	【参考指標】	目標	( )	( )	( )	( )	( )
		実績					
進捗状況説明	支援対象児童生徒の保護者(3名)に対しアンケートを実施、3名からの回答を得た(回収率100%)。特別支援教育支援員の対応に満足しているかの問いに対し、「とても満足100%」の回答が得られた。また、「支援員の支援を受けてお子さんに変化はありましたか」との問いに「変化があった」「とても変化があった」との回答があった。 保護者からは「支援員と情報共有することにより、学校での学習の様子なども把握することができ満足している。」等、支援を受けることにより学習意欲に繋げることができた。						

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<p>特別支援教育支援員による授業中のサポート、見守り支援、個別での課題(家庭学習)作成、放課後の補講などにより支援員配置の満足度は達成できた。            今後は、保護者からの声を支援員(学校)と共有することにより、より一層事業の推進に繋げる必要がある。また、支援員間の情報交換及びスキルアップを図ることを目的として支援員対象の研修会内容の拡充、指導主事による授業参観を行い、指導助言を行った。</p>	<p>支援を要する幼児児童生徒一人ひとりに合った支援体制を維持していくため、今後も臨床心理士による巡回相談のあり方や巡回後の学級担任・特別支援教育コーディネーター等との面談・情報交換等を定期的に行う。            特別支援教育支援員研修会を今後も継続し、資質向上を図るとともに、臨床心理士・指導主事からのアドバイス・情報提供を活用する。</p>
	<b>今後の取り組み方針</b>	
<p>臨床心理士や指導主事からの個別の支援アドバイス等を学校・特別支援教育支援員へ情報提供し、支援方法の共有を図る。            教職員、特別支援教育支援員、指導主事等や保護者間で随時情報交換を行い、個々の状況を把握しながら支援の必要な幼児児童生徒に適正な支援を行えるよう、体制強化に努める。            アンケートの内容や事業の周知方法等を見直し、成果目標の検証に役立てる。</p>		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)				
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
6,107	4,229	3,383	846	1,878
<pre>           graph LR             A[東村 6,107千円] --&gt; B[賃金 6,107千円]             B --&gt; C[特別支援教育支援員 (4名) 6,107千円]             C --- D[特別支援教育支援員賃金 東小学校 1名 東中学校 2名]           </pre>				

資金の 用途の 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○支出先の選定方法について、支援員は応募者を面接により選定し、「東村嘱託員に関する規定」に基づき任用しており、妥当である。            ○予算規模において、予算範囲内で執行できており、事業内容に見合った適正な規模である。            ○費目・用途については、支出等に関する書類により確認、適正である。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	東村						
<b>令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】</b>							
事業番号・事業名	4-①	災害備蓄品整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2-(4)-イ		
担当部署名	総務財政課	事業実施(予定)年度	令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	災害に強い県土づくり防災体制の強化 Ⅲ-10-(2)		
事業内容	東村地域防災計画に基づき食糧及び飲料水の備蓄を行い、適切な被災者支援を行う。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(    年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他(    )						
<b>予算額・執行額</b> 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額(b-a) (d) 繰越額 A. 計(b+d)						1,809
							1,809
			0	0	0	0	0
							0
			0	0	0	0	1,809
	B. 執行済額						1,775
	うち交付金充当額						1,420
	次年度繰越額						0
	執行率(%) (B/A)		#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	98.1%
予算の状況の説明		当初の計画通り執行が行えた。					
<b>活動目標(指標)及び達成状況</b>	R3活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	備蓄食(1,827食)及び保存水(500mmペットボトル3,654本:1,827ℓ)の備蓄する。	目標	(    )	(    )	(    )	( 備蓄食1,827食 保存水1,827ℓ )	
		実績				備蓄食1,827食 保存水1,827ℓ	
		目標	(    )	(    )	(    )	(    )	
	実績						
達成状況説明	・備蓄食糧として、1,827食分、保存水ペットボトル3,654本(1,827ℓ)を購入し、災害時への備えを行った。						
<b>成果目標(指標)及び進捗状況</b>	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)
	①備蓄食及び保存水の備蓄 ・令和3年度備蓄食糧 備蓄率100% ・令和3年度保存水 備蓄率100%	目標	(    )	(    )	(    )	( 備蓄食100% 保存水100% )	(    )
		実績				備蓄食100% 保存水100%	
		目標	(    )	(    )	(    )	(    )	(    )
		実績					
進捗状況説明	・東村地域防災計画に基づき本村人口の20分の1の7日分程度の食糧及び飲料水を備蓄する。						

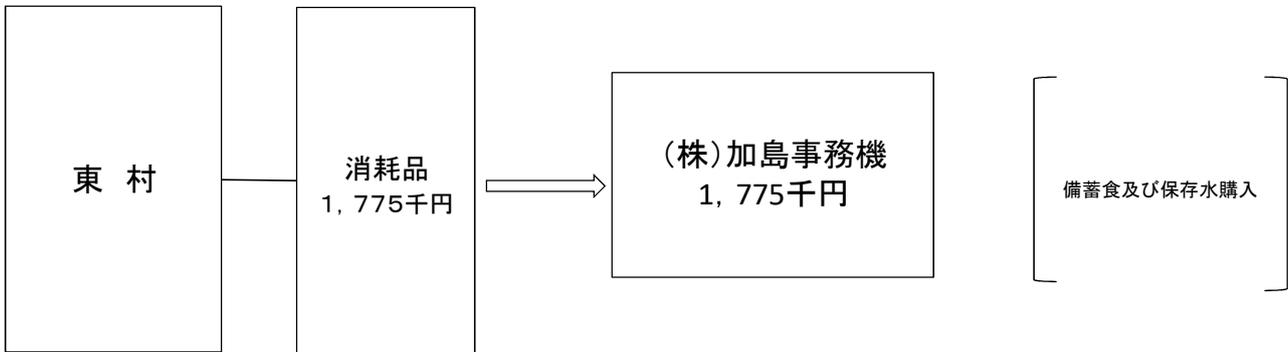
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・東村地域防災計画に基づき、災害時に強いまちづくりの推進により災害時の食糧及び飲料水を確保。</p>	<p>・整備した備蓄食においては、米、パンなどの主食を中心に整備したが災害時には被災者要望等に応える必要があると思われ、乳幼児向けの備蓄食の検討する必要があると思われる。</p>

**今後の取り組み方針**

・主食である、米、パンを整備を行ったが、副食や乳児食等を検討していく。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何をを行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
1,775	1,775	1,420	355	0



資金の用途の点検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○物品売買業者選定、妥当であったと考える。 ○不用額は無く、適正な規模であった。 ○費目、用途については、目的に則し必要なものと判断した。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	東村						
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	5-①	東村健康器具設置検討事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2-(1)-ア		
担当部署名	福祉保健課	事業実施(予定)年度	令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	沖縄の食や風土に支えられた健康づくりの推進 Ⅲ-4		
事業内容	村民の健康増進を図るため、身近な地域に健康器具のための調査検討を行う。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度( R5 年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他( )						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	予算の状況	(a)当初予算額					5,080
		(b)予算現額					5,080
		(c)増減額(b-a)	0	0	0	0	0
		(d)繰越額					0
	A. 計(b+d)		0	0	0	0	5,080
	B. 執行済額						5,204
	うち交付金充当額						4,163
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)		#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	102.4%
予算の状況の説明		設置箇所の選定により、用地測量が必要となった個所と、既存のウォーキングコースに沿って器具の設置を検討した際、降雨後コースが水たまりとなる状況があり、歩道詳細設計が追加された。					
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	健康器具設置場所の調査検討	目標	( )	( )	( )	( 実施 )	
		実績				実施	
		目標	( )	( )	( )	( )	
実績							
達成状況説明	委託料においては、各行政区における健康器具の設置調査・検討を実施した。設置箇所の測量業務も実施し、事業期間内に完了することができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)
	健康器具設置場所の調査検討完了	目標	( )	( )	( )	( 報告書作成 )	( )
		実績				報告書作成完了	
		目標	( )	( )	( )	( )	( )
		実績					
進捗状況説明	健康器具の設置場所の調査検討を行い、報告書を作成した。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	健康器具を安全に利用するために、維持管理が必要になると思われる。	安全に利用できるよう、維持管理については、各行政区と協議する。

**今後の取り組み方針**

令和4年度に健康器具整備工事、R5年以降に利用者へのアンケートにより、意本事業のありかたを検討する。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
5,204	5,204	4,163	1,041	0



資金の用途の点検・費目・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は指名競争入札で選定しており、妥当であったと考えている。 ○不用額は無く適正な規模であった。 ○費目、用途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	